

# CDM Asymmetry EEG Monitor

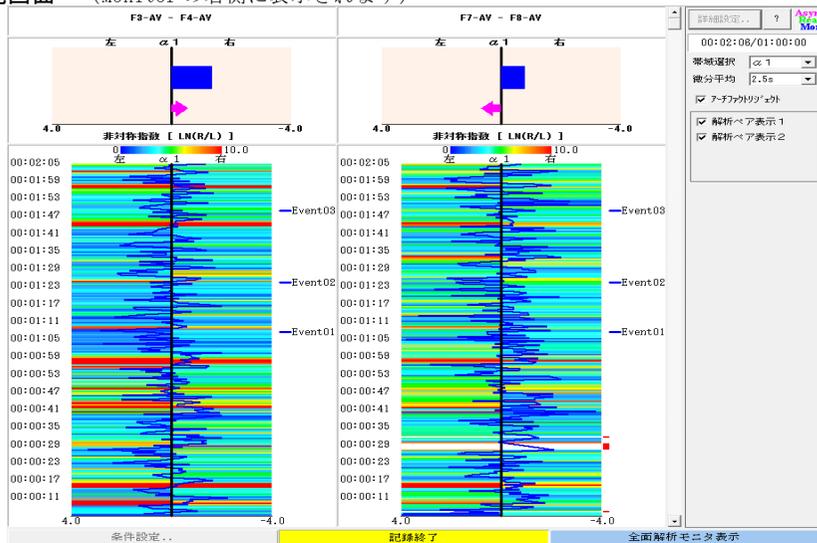


CDM-左右非対称性脳波モニター (CDM Asymmetry EEG Monitor) は、パーソナルコンピュータ (以下 PC と呼びます) で動作している収録プログラム (Mobile Acquisition Monitor, AP Monitor) 上で、波形のモニタと同時に脳波などの生体信号の周波数成分をリアルタイムに CD 法による短時間分解能で解析し、左右差指標をリアルタイムで表示すると同時にトレンドで経過を表示します。リアルタイムの左右差指標のみを全画面で表示することで、被験者にフィードバックさせた反応を観察することも可能です。左右ペアは最大4ペアまで解析できるので、複数収録モニターを使用することで複数人の左右差指標を比較表示することができます。解析結果は収録終了時に同時にテキスト形式のファイルで保存することができます。

## 特徴

- 収録モニタープログラム (AP-Monitor, Mobile Acquisition Monitor) のオプションソフトとして機能します。
- 最大4ペアまでの周波数帯域の左右差指標の解析が可能です。帯域はCD法で計算します。
- 最短0.1秒単位でリアルタイムで周波数解析して左右差指標を表示します。
- 左右差指標はリニアやLOG算出など4通りのモードで出すことが可能です。
- リアルタイムで左右差指標をグラフ表示すると同時に過去の経過をトレンドで表示します。
- 指標・トレンドのみを画面全体に表示可能です。
- 解析した左右差指標トレンドデータをテキスト形式で保存できます。

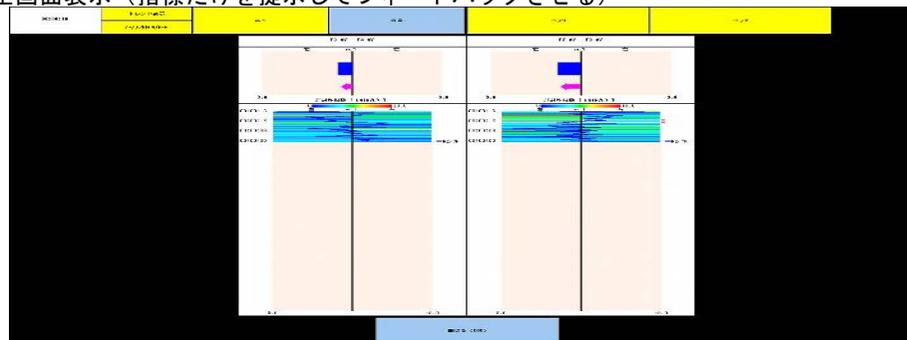
## 機能画面 (Monitor の右側に表示されます)



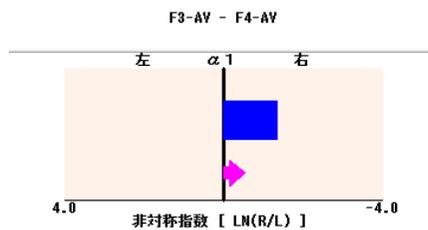
## 条件設定



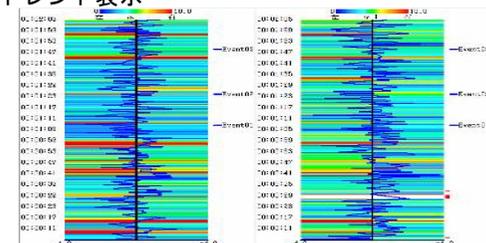
## 全画面表示 (指標だけを提示してフィードバックさせる)



## 指標表示



## トレンド表示



## 仕様

- モニタペア数 最大4ペア
- 左右差指標モード
  - モード1 (R<sup>2</sup>)/(L<sup>2</sup>)
  - モード2 LOG10((R<sup>2</sup>)/(L<sup>2</sup>))
  - モード3 ((R<sup>2</sup>)-(L<sup>2</sup>))/((R<sup>2</sup>)+(L<sup>2</sup>))
  - モード4 (R-L)/(R+L)
- CDM 帯域解析条件
  - 周波数範囲 5~20Hz (中心周波数) 帯域幅 0.4Hz~5.0Hz
  - 時間分解能 0.1秒~2.5秒 帯域指定数 4帯域
- アーチファクト検出 可能 (振幅、P-P 値切り替え)
- 非対称指示表示
  - 左右差指標の棒グラフ
  - 方向微分矢印
- トレンド作成時間 最大4時間
- トレンド表示
  - 左右差指標のトレンド線と CDM 振幅のカラー表示, 方向微分トレンド線
  - トレンド表示区間 20秒~10分 記録時の自動スクロール表示
- 画面全体表示 左右差解析画面の全画面表示が可能
- 結果保存
  - 帯域ごとの左右差指標と CDM 振幅値のテキスト保存
  - (解析終了時の自動保存)

このソフトウェアは、基礎医学研究用途にご使用ください。

## 動作環境

- パーソナルコンピュータ (PC/AT 互換機) 2010年以降の最新高速CPU
- メモリ 4GB以上 ハードディスクの残り容量 10GB以上
- 表示解像度 1024×768以上
- 対応 OS WindowsXp, Windows7, Windows8, Windows10 (但し収録ソフトが動く環境による 日本語環境)
- ポリメイト接続時にはUSBポートが1つ以上空いていること

開発元 (有) のるぷろライトシステムズ 問い合わせメール noru@fb3.so-net.ne.jp  
〒185-0003 東京都国分寺市戸倉 2-11-25 TEL/FAX 042-304-1951 できるだけメールでお問い合わせください。